

大切な画像をクラウド管理 「WATARU」の安心感



施設概要

■所在地

東京都西東京市住吉町 3-9-8 ひばりヶ丘メディカルプラザ 2F

■診療内容

内科・胃腸内科・内視鏡内科・生活習慣病・健診・人間ドック

医療法人社団敬生会 なかじょう内科（中条徹朗院長、本文中「当院」）は、「正確な診断と丁寧でわかりやすい説明」をモットーに、地域の人々のホームドクターとして、多くの内視鏡検査に携わった経験・技術に裏付けされた最新の医療を提供するため、検査画像を活用した診療で患者とのコミュニケーションを図っています。

一般的な内科診療のほか、1日あたり約10件の消化器内視鏡検査を実施する当院で、スリーゼット（本文中「当社」）のクラウド型 PACS「WATARU（わたる）」がどのように業務を支えているか、また当社への期待などをインタビューしました。

開業当初からの課題だった 検査画像データの保存

当院では、朝一番の30分間と午後の3時間を予約制の検査時間とするほか、6時間の診療時間を設けている。患者層は老若男女を問わず、症状もかぜ等の急性期疾患や高血圧・糖尿病等の慢性疾患と多岐にわたる。

特に大腸内視鏡検査では検査・所見作成・患者回復後の説明といった流れを複数患者で並行して実施する。こうしたフル稼働体制にあっても、院長とスタッフ間の役割分担によるスムーズな連携が肝となり、気配りの行き届いた受診環境を創りだしている。

院長は親切で心のこもった医療サービスと同時に、高度な技術による

診療の提供を信条とし、患者とのコミュニケーションを重視してきた。

「診察の際に、大きく綺麗な画像を見ながら説明する（写真①）ことで、[視覚的に理解・納得して頂く](#)ことができるので、画像データ整備には力を入れています」（院長）

当院では内視鏡をはじめ CR、心電図、超音波等の検査画像を2010年の開院時から PACS で一括管理していたが、[日々増加する検査画像の保存は当初から課題になっていた](#)。容量追加をするには、院内に設置したサーバ本体だけでなく

バックアップ用ハードディスク増設も必須であり、費用面だけでなくハードウェア管理の煩雑さを感じていた。

そんな中、2011年の東日本大震災の経験から、災害対策の必要性を感じクラウド型 PACS を検討するようになった。



► ①PACS を活用した診察風景

一緒に画像を見ながら説明することで、患者の理解・納得をうながす。

▼②コンパクトな WATARU-CUBE

WATARU-CUBEはクラウド上のデータ保管・読み込まだけでなく、500GBのSSDを搭載し院内画像サーバーの役割もつ。設置スペースは一般的なタワー型サーバ機の約4分の1以下で十分だ。



費用対効果が高く 信頼のおけるクラウドサービス

災害時等のデータ保持やハードウェア管理コスト削減といったクラウドサービスのメリットを選定条件に、複数メーカーのクラウド型PACSで検討

を進めていたが、当社に問い合わせたところ、自信をもってWATARUを提案していると感じた。

「WATARU-CUBE」の設置のみでクラウドサービスが利用できる（写真②）手軽さや、ビューワの操作性などが魅力であったが、一番の決め手は「データ保存のセキュリティに関する知識量や丁寧なサービス説明、また保守料込の月額制である点に信頼感を持ちました。ずっと使うなら、頼りになるメーカーにしたいと思っていました」（院長）

WATARUは汎用的な医用画像ビューワ（※1）を搭載している。「過去検査との画像比較や胸部レントゲンの心胸郭比計測・白黒反転表示など、簡単な操作で行えます。また、WATARUへの入替に伴い、電子カルテとのシステム連携プログラムを導入しました。カルテ参照時に該当患者の過去検査画像がビューワに自動表示されるので、業務効率の向上を実感しています」（院長）

高速でトラブルも少ない WATARU

WATARUはインターネット回線を使用するため、従来の効率的な診療体制を支えられる画像参照スピードを確保できるかが懸念点として残っていたが、導入から半年間が経過した現在も、クラウド上からのデータ参照はスピーディであり効率的に運用できているという。

またWATARUはトラブルが非常に少ない。院長に当社の満足度を尋ねたところ「満足度は100点に近いですが、実は不具合が起きないためサポート係に問い合わせる機会自体がほぼ無いのです。そこは未知数だから差し引き90点というところかな（笑）」といったご回答を得た。

「スリーゼットの良さはアットホームな対応と高い技術力です。これからも安心してシステムを使えるように繁栄していくください」と、当社への院長の期待を伺うことができた。

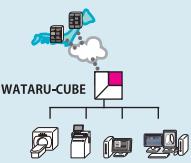


WATARU
Medical service to link

従来のサーバに代わる専用端末「WATARU-CUBE」をレンタルし、サーバレス運用を実現。データ量に応じた月額料金で利用できるハイブリッド・クラウドPACSです。

大切なデータは暗号化・秘密分散処理を行い、国内東西2拠点のデータセンターで安全に保管しますので、バックアップ体制としても安心です。

全国1700以上の導入実績をもつ弊社のビューワを標準装備するクリニック向けソリューションです。



**当院の
コンセプト**

患者の利便性や安心感を演出





西武池袋線ひばりヶ丘駅から徒歩1分の医療モール内に立地する当院。内視鏡検査では鎮静剤を投与するため自動車での来院ができない患者の利便性を考慮したという。広い院内は、便秘解消に良いといわれ長寿の象徴でもあるオリーブの緑と、太陽のオレンジがイメージカラーとなっている。前処置室やリカバリー室などが目的別に整備され、リラックスして検査を受けられる工夫が施されている。

写真左：院長とスタッフの皆様。 右：広く明るい待合室。

■お問い合わせ先（制作元・製品開発元）

株式会社スリーゼット

本社 東京都千代田区神田須町1-24 アイセ神田ビル5F
Tel: 03-5289-7531 E-mail: info@3zweb.co.jp

www.3zweb.co.jp

※1 医療機器情報 一般的名称：汎用画像診断装置7-ケターション用ブルーム リスク分類：管理医療機器（特定保守管理医療機器） 製造販売業許可番号：13B2X00373 医療機器認証番号：21800BZZ1007100

※2 本文中の情報は2016年9月現在のものです。

Rev.2016.12